



2023年4月4日

各位

会社名 株式会社ヤマキザイ
代表者名 代表取締役社長 高田一昭
(コード番号: 7677 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 阿部昌宏
(TEL 03-4218-0096)

調査委員会の提言を受けた再発防止策の策定等に関するお知らせ

当社は、2023年3月31日付「調査委員会の調査報告書公表に関するお知らせ」において公表しました調査委員会の調査報告書による再発防止策の提言を真摯に受け止め、当社が今後取るべき再発防止策について、下記のとおり、本日開催の取締役会で決議いたしましたので、お知らせいたします。

株主・投資家の皆様をはじめお取引先及び関係者の皆様には、ご迷惑とご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げますとともに、信頼回復に向けて全力で再発防止策に取り組んでまいり所存ですので、何卒ご理解賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

記

・再発防止策について

1. 行動規範、コンプライアンスガイドラインの周知の再徹底
 - ・経営陣による一般社員及び管理職向けの研修（2023年3月実施済み）
 - ・内部統制委員会、顧問弁護士による研修（2024年3月期以降継続実施）
2. 遵守すべき法令やルールへの教育
 - ・内部統制委員会による研修（2023年1月実施済み、2024年3月期以降継続実施）
3. 営業担当者（課長職含む）の教育の徹底
 - ・内部統制委員会による営業担当者向けの研修（2024年3月期以降継続実施）
4. 内部監査の監査内容改善と結果の情報共有、社内周知の仕組みの構築
 - ・内部監査結果の全部門周知と類似事案の検証（2024年3月期第1四半期末までに整備、以降継続運用）
 - ・経営会議や取締役会、コンプライアンス・リスク管理委員会への内部監査結果の適時共有のフロー整備（2024年3月期第1四半期末までに整備、以降継続運用）
 - ・内部監査手続きとして本件調査で行ったデータアプローチ検証の導入（2024年3月期第1四半期末までに整備、以降継続運用）
5. 内部監査結果に対する評価基準の厳格化
 - ・不適切な会計処理等に対する評価基準における金額的重要性の排除（2024年3月期第1四半期末までに整備、以降継続運用）
6. 人事評価制度面からの内部統制の強化とコンプライアンス意識向上の支援
 - ・人事評価制度の「全社目標」において「内部統制とコンプライアンスの強化」を追加（2024年3月期期首に追加）

7. 受発注登録の承認プロセスの見直し（購買プロセスにおける開示すべき重要な不備への対応）
 - ・受注登録の承認プロセスの改善として、一切の自己承認を不可とするため、営業担当者の上長の承認を経る承認経路のシステム改修（2024年3月期第2四半期末までに実施）
 - ・発注登録の承認プロセスの改善として、営業部門及び調達部門による受注情報との整合性チェック（2024年3月期第1四半期末までに整備、以降継続運用）
8. 売上計上に関する防止的・発見的統制の強化（販売プロセスにおける開示すべき重要な不備への対応）
 - ・販売先別の債務認識時期を示す証憑種類等のリストに基づく照合確認手続を整備するとともに、債権債務の残高確認実施の頻度を年2回から4回へ引き上げ（2024年3月期第1四半期末までに整備、以降継続運用）
 - ・販売先が債務認識した時期を示す証憑種類等を販売先別にリスト化し、当該リストを用いて営業担当者が照合し、営業部門の上長が承認（2024年3月期第1四半期末までに整備、以降継続運用）
9. 内部通報制度の実効性確保
 - ・経営陣による一般社員及び管理職向けの研修での制度説明（2023年3月実施済み）
 - ・内部統制委員会による研修での制度説明（2024年3月期以降継続実施）
10. コンプライアンス・リスク管理委員会によるリスク評価と周知
 - ・コンプライアンス・リスク管理委員会による取引種類ごとに不適切会計につながるリスクと当該リスクへの対応パターンを整理した「取引先対応に関する基本方針」の策定（2024年3月期第1四半期末までに整備、以降継続更新）
 - ・上記基本方針を踏まえた営業部門の業務マニュアル等の作成（2024年3月期第2四半期末までに作成）

以上